



EDG

Jp	使用説明書
En	Instruction Manual
Fr	Mode d'emploi
Es	Manual de instrucciones



はじめに・安全上のご注意	4-6
使用上のご注意	6-8
本体と同梱部品	9
各部の名称	10
眼幅調整	11
ピント合わせハンドル	12
視度調整	12-13
目当ての高さの調整	14-15
接眼キャップ	15
対物キャップ	16
ストラップ	16-17
仕様	18-19

・仕様・外觀などは改善のため予告なしに変更する場合があります。
 ・本「使用説明書」に掲載されている文章・イラスト等の無断転載を禁じます。
 アフターサービスについて
 お買い上げいただきましたニコン双眼鏡を、安心してご愛用いただけますよう、次のとおり修理、アフターサービスを行っております。
 ・本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後も 8 年間を目安に保有しております。したがって、修理可能期間は部品保有期間内とさせていただきます。なお、ご使用いただいております製品が修理可能期間内であるかどうかにつきましては、当社 CS センター、あるいはニコンのサービス機関へお問い合わせください。
 付記
 水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は当社 CS センター、あるいはニコンのサービス機関におまかせください。
 消耗品について
 ・目当て等の消耗品につきましては、ご購入店、または当社 CS センター、あるいはニコンのサービス機関にお問い合わせください。

このたびは、ニコン双眼鏡をお買い上げいただき、ありがとうございます。

安全にお使いいただくために必ず以下の諸注意事項をお守りください。

- 1 ご使用の前に、この使用説明書の「安全上のご注意」、「使用上のご注意」、「使い方」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 2 お読みになった後は製品のそばなど、いつも手元に置いて、ご使用ください。
- 3 この使用説明書の「安全上のご注意」「使用上のご注意」「使い方」に書かれている内容は、お客様が購入された製品の仕様には含まれない項目も記載されています。

この使用説明書には、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。内容をよく理解してから、製品をご使用ください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用上のご注意

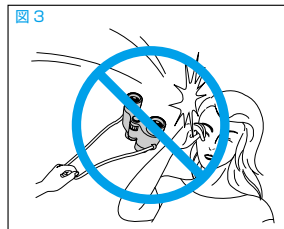
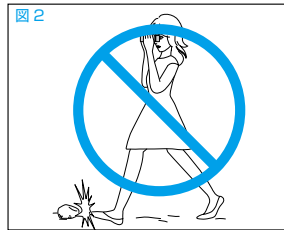
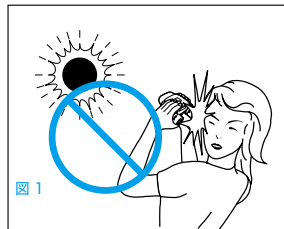
この項目にある表示を無視して、誤った取り扱いをすると、製品の性能・機能を阻害する損害の発生が想定される内容を示しています。

警告！

この製品で絶対に太陽を見ないでください！太陽をのぞくと、目を痛めたり、失明する恐れがあります。使用時には細心の注意を払って太陽を絶対に見ないようにしてください。(図1)

注意！

- この製品を不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。
- この製品を歩行中に使用しないでください。衝突や転倒により、けがの原因となることがあります。(図2)
- この製品のストラップを持って振り回さないでください。他人に当たりけがの原因となることがあります。(図3)
- この製品に付属のケース、ストラップや本機のゴム部分、目当てゴム等は、長期間の使用や保管の間に劣化し、衣類などを汚すことがあります。ご使用になる前に点検し、劣化による異常が見られた場合は、当社 CS センター、あるいはニコンのサービス機関にご相談ください。



△ 注意！

- この製品の長時間使用を繰り返しますとゴム製目当てにより皮膚に炎症を起こすことがあります。もし、疑わしい状態が現れましたら、直ちに医師に相談してください。
- この製品の眼幅調整や視度調整を行うとき、指をはさみ、けがをすることがあります。小さなお子様の使用につきましては、特にご注意ください。(図 4)
- この製品の包装に使用されるポリ袋などを小さなお子様の手に届くところに置かないでください。口や鼻をふさぎ、窒息の原因になることがあります。(図 5)
- キャップ、目当てゴムなどお子様が誤って飲むことがないようにしてください。万一、お子様が飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 分解しないでください。この製品の修理は、専門の技術者の手を必要とします。(図 6)

図 4

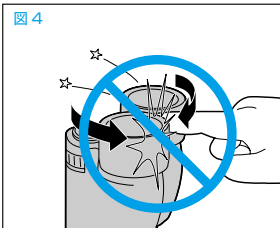


図 5

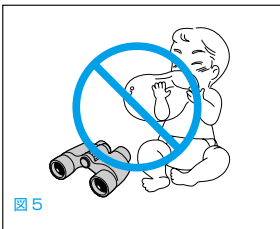
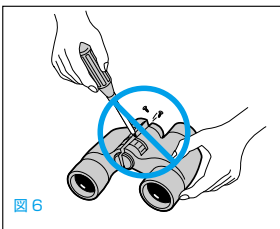


図 6



〔取り扱い・操作〕

1. ボディを制限以上に、開かないようにしてください。また、「視度調整ハンドル」や「ピント合わせハンドル」を制限以上に回さないでください。(図 7)
2. この製品に雨や水しぶき、砂や泥がかからないようにしてください。(図 8) なお、防水構造の双眼鏡ですので、多少の雨や水しぶきがかかっても、機能を損ねることはありませんが、できるだけ早く水滴を拭き取るようにしてください。
3. この製品に衝撃を与えないでください。誤って強い衝撃を与えてしまったり、地面に落としたりして、見え方がおかしくなったときや、水に浸してしまったときは、すぐにお買い上げ店、または当社CSセンター、あるいはニコンのサービス機関にご相談ください。(図 9)
4. 冷たい戸外から温かい室内に入ったときなどの場合、急激な温度変化によって、一時的に、レンズ面が曇ることがあります。この場合は自然に曇りがなくなるまで、乾燥させてください。

図 7

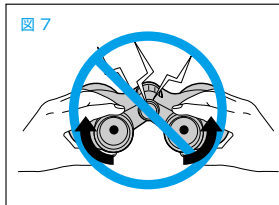


図 8

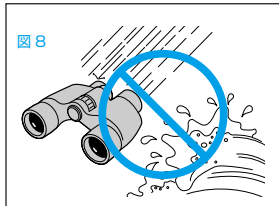
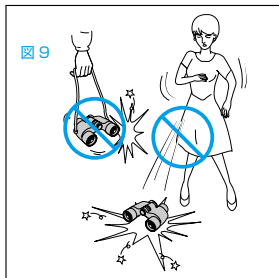


図 9



〔保管〕

5. 湿気の多いところでの保管・使用は、レンズ面にカビや曇りが生じやすくなります。風通しのよい、乾燥した場所に保管してください。とくに、雨の日や夜間に使用されたときは、室内で充分に乾かしてから保管してください。
6. この製品を長期保管する場合は、プラスチック袋や気密性の高い容器に、乾燥剤と一緒に保管してください。それが不可能なときは、湿気の影響を受けやすい付属のケースから出して、別々に清潔で風通しの良い場所に保管してください。(図 10)
7. 炎天下の自動車の中や、ヒーターなどの高温体の発熱体のそばに、この製品を放置しないでください。製品の変形、故障の原因となります。(図 11)

図 10

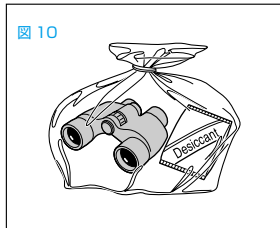
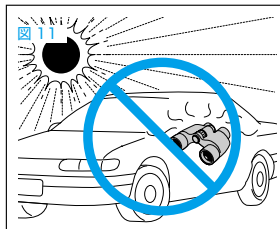


図 11



【手入れ・保守】

8. 本体のお手入れは、ブロー*でゴミやホコリを軽く吹き払ったあと、柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。とくに、海辺等で使ったあとは、湿った柔らかい清潔な布で塩分を拭き取り、次に乾いた布で軽く拭いて乾かしてください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、有機溶剤を含むクリーナーなどを汚れ落としに使わないでください。(図 12)
- ※ ブロー*：ノズルから空気をいきおいよく吹き出すことができるゴム製の清掃道具
9. レンズ面のホコリは、柔らかい油気のないハケで払うようにして、とりのぞいてください。
10. レンズ面についた指紋などの汚れは、メガネ拭き専用の布（市販品）で拭き取るか、ガーゼまたは専用のクリーニングペーパー（カメラ店などで市販されているシリコンが含まれていないもの）に少量の無水アルコールを含ませて、軽く拭き取ってください。(図 13)
11. 「ピント合わせハンドル」や「視度調整ハンドル」などの回転部分に入った砂・ゴミは、ハケでよく払ってください。(図 14)

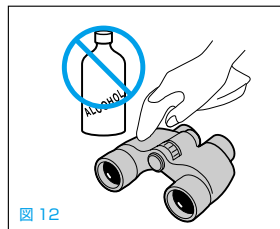


図 12

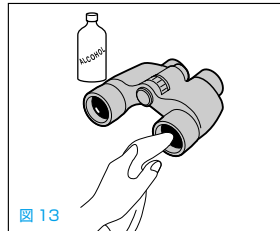


図 13

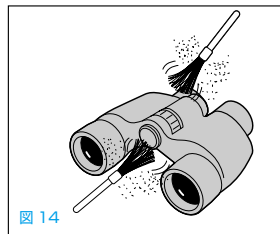


図 14

本体と同梱部品



本体 (CW)



ストラップ x1 (SAY)



ケース
(Φ42: CCT, Φ32: CDB)



接眼キャップ x1
(Φ42: ECP, Φ32: ECQ)



対物キャップ x2 (本体組込済)
(Φ42: OCE(R)/OCF(L), Φ32: OCG(R)/OCH(L))



(Φ42: 7x ACL, 8x ACK, 10x ACJ)
(Φ32: ACP)



(Φ42: EBY, Φ32: ECK)

ツノ目当て、キャップ x 各 2



- ① 接眼目当て（ターンスライド）
- ② ツリヒモ取り付け部
- ③ ピント合わせハンドル
- ④ 視度調整ハンドル
- ⑤ 対物レンズ



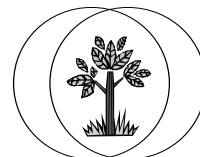
- ⑥ 接眼レンズ
- ⑦ 指標
- ⑧ 0ディオプター位置
- ⑨ 中心軸



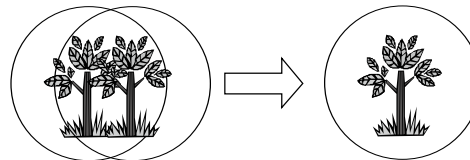
接眼を覗きこみ、本体を図の矢印のように開閉して、視野がひとつの円になるように調整します。



または、



上のように見えるときは、光軸がズレています。観察中に疲れを感じたり、像が二つに見えるようであれば、点検を受けられることをお勧めします。



ピントが合っていない状態で調整することも可能です。

光軸：鏡筒（光学中心）が向いている方向のこと。双眼鏡は左右の光軸中心が同じ目標に向く必要があります。

構成

- ① ピント合わせハンドル
クリックストップにより、引き出すことが可能。
- ② 視度調整ハンドル
通常はピント合わせハンドルにより隠されています。
ピント合わせハンドルを引き出すことにより、操作可能となります。

位置と機能

I の位置

押し込んだ状態（ピント合わせ位置）
ピント合わせハンドルとして機能します。

II の位置

引き出した状態（一段引き出した状態）（視度調整位置）
ピント合わせハンドルは空回りします。
視度補正ハンドルの操作が可能となり、視度調整が出来ます。



ピント合わせ位置



視度調整位置

視度調整は、左右の視度差を補正するための調整です。複数人で使用するときは、必ず再調整をしてください。

個人専用で使用する場合は、一度調整を行えば、再度の調整は通常必要ありません。

- 1 ①ピント合わせハンドルを押し込み、左目で左接眼を覗きこみ、遠方の目標物に①ピント合わせハンドルを操作して、目標物にピントを合わせます。
- 2 ①ピント合わせハンドルを引き出して、②視度調整ハンドルの操作が可能な状態にします。
- 3 次に右目で右接眼を覗きこみ、②視度調整ハンドルを操作して、同じ目標物にピントを合わせます。
- 4 両目で目標物にピントが合うかを確認します。（視度調整の確認）

5 ピントが合う場合は、①ピント合わせハンドルを押し込み、②視度調整ハンドルを操作できないようにします。

6 目標物を変えたときは、①ピント合わせハンドルを操作して、ピントを合わせます。
・時計方向に回すと、現地点より遠方の目標物にピントが合います。
・反時計回りに回すと、現地点より近くの目標物にピントが合います。

7 ピント合わせの必要がないときは、①ピント合わせハンドルを視度調整位置にセットすると、不意に①ピント合わせハンドルを触ってもピント位置はずれません。
ただし、視度調整が可能となりますので、ご注意ください。

ターンズライド目当て



目当て収納状態



目当て展開状態

目当ては、(方向は接眼側から見たとき) 反時計回りに回すと、引き出すこと(展開状態)が出来ます。
時計回りに回すと、収納すること(収納状態)が出来ます。
クリックは合計4カ所あります。

● 眼鏡非装用者

目当てを引き出して(3つ目のクリック位置で)使用します。

注) 目当てはクリック位置から更に回り止ります。外れますので、これ以上回さないでください。

目当てには、展開状態になるまでに、二ヶ所中間クリックがあります。
視野が確保され、観察が楽な位置にセットして、お使いください。

● 眼鏡装用者

目当てを収納した状態で使用します。
視野が確保される場合は、中間クリック位置にセットして、使用することも可能です。

ツノ型目当て



ツノ目当て組み込み状態



キャップの装着例

- 眼鏡を装用しての使用はできません。眼鏡を外してください。
- 接眼部のゴム目当てに被せて使用します。
- 次の状態で、目当てのツノがこめかみ部分にくるように位置を調節しながら、組み込んでください。
 - ・ 双眼鏡の開きを使用状態(眼幅調整後の状態)に調整する。
 - ・ 目当て高さを調整して、視界にケラレなどが無い状態にします。
 - ・ 組み込み時に目当ての高さが変わらないように注意してください。



① ストラップ通し

ストラップを通すことにより、紛失防止になります。

眼幅最大時のキャップは容易に外れますが、眼幅を狭めたときは摩擦により外れにくくなります。

対物キャップ



対物キャップは本体に組み込まれています。
左右で形が異なります。また取り付けは決まった位置になります。
キャップを下ろした状態で使用します。

格納時（出荷時）



下ろしたときの状態



ストラップ



左 右

取付けは写真のように両側で行ってください。



ベルトの中ほどにあるストッパーにより、長さを変えることができます。
双眼鏡をストラップで首に掛けた状態で行なうと、左右均等な長さに調整することができます。
前にぶら下げたとき、双眼鏡が最適な位置に来るように、長さを調整してください。



形式：ダハプリズム中央繰り出し式					
型名	EDG 8x32	EDG 10x32	EDG 7x42	EDG 8x42	EDG 10x42
倍率 (x)	8	10	7	8	10
対物レンズ有効径 (mm)	32	32	42	42	42
実視界 (°)	7.8	6.5	8.0	7.7	6.5
見掛け視界 (°)*	57.2	59.2	52.2	56.6	59.2
1,000m における視界 (m)	136	114	140	135	114
ひとみ径 (mm)	4.0	3.2	6.0	5.3	4.2
明るさ	16.0	10.2	36.0	28.1	17.6
アイレリーフ (mm)	18.5	17.3	22.1	19.3	18.0
最短合焦距離 (m)**	2.5	2.5	3.0	3.0	3.0
眼幅調整範囲 (mm)	54-76	54-76	55-76	55-76	55-76
高さ (mm)	138	138	149	148	151
幅 (mm)	139	139	141	141	141
重量 (g)	655	650	785	785	790
構造	防水 (5m/10 分間) と窒素充填				

* 関係式「 $\tan \omega' = \Gamma \times \tan \omega$ 」で算出した値。 見掛け視界 : $2 \omega'$ 、倍率 : Γ 、実視界 : 2ω

** 調節していない正視眼の場合

☆防水設計について

この製品は 5m の水深に 10 分間水没させても内部光学系に異常がなく、観察に支障のない防水設計になっています。

- 雨風の当たる場所や、湿気の多い場所等の悪条件下で使用しても、内部機能を損ねることがない。
 - 乾燥窒素の充填により、曇りやカビが生じにくい。
- などの特徴がありますが、次の点にご注意の上、ご使用下さい。
- 密室構造ではありませんので、水中での使用や強い水流で洗うことはおこなわないでください。
 - 本体可動部に水滴が付いたときは操作することをやめ、水滴を拭き取るようにしてください。

なお、防水性能を保持するために、定期的に点検を受けられることをおすすめします。

Precautions	20-22
Operation precautions	22-24
Binoculars and included accessories	25
Nomenclature	26
Interpupillary adjustment	27
Focusing ring	28
Diopter adjustment	28-29
Adjusting an eyecup's position	30-31
Eyecap	31
Objective caps	32
Strap	32-33
Specifications	34-35

- Specifications and design are subject to change without notice.
- No reproduction in any form of this manual, in whole or in part (except for brief quotation in critical articles or reviews), may be made without written authorization from NIKON VISION CO., LTD.

Thank you for purchasing these Nikon binoculars.

Strictly observe the following guidelines in order to use the equipment properly and avoid potentially dangerous accidents

- 1 Before using the product, thoroughly read the "SAFETY PRECAUTIONS" and the instructions accompanying the product on correct use.
- 2 Keep these instructions within easy reach for reference.
- 3 Some of the "SAFETY PRECAUTIONS", "OPERATION PRECAUTIONS" and "OPERATION" described here may not refer to the product you purchased.

In order to protect you and third parties from possible injury and/or property damage or loss, you are kindly requested to pay close attention to all instructions, warnings and cautions regarding the use and care of this product.

⚠ WARNING

This indication alerts you to the fact that any improper use ignoring the contents described herein can result in potential death or serious injury.

⚠ CAUTION

This indication alerts you to the fact that any improper use ignoring the contents described herein can result in potential injury or may cause only a material loss.

OPERATION PRECAUTIONS

The items contained in this section alert you to the fact that any improper use ignoring the contents described herein may negatively affect product performance and functionality.

⚠ WARNING!

Never look at the sun directly while using binoculars.

Doing so may seriously damage the eyes. (Fig. 1)

⚠ CAUTION!

- Do not leave the binoculars in an unstable place. They may fall and cause injury.
- Do not look through the binoculars while walking. You may walk into something and get hurt. (Fig. 2)
- Do not swing the binoculars by their straps. They may hit someone and cause injury. (Fig. 3)
- The soft case, strap, and external materials utilized on binoculars and rubber eyecups may deteriorate due to aging and stain clothes. To prevent this, check their condition before each use, and consult with the shop where you bought them if such deterioration is found.

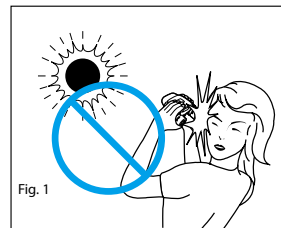


Fig. 1

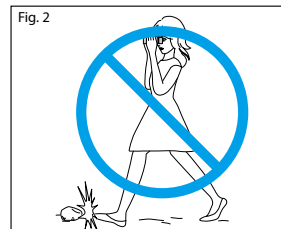


Fig. 2

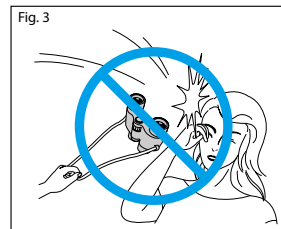


Fig. 3

CAUTION!

- If you use the rubber eyecups for a long period of time, you may suffer skin inflammation. If you develop any symptoms, consult a doctor immediately.
- Be careful not to pinch your finger when adjusting interpupillary distance or diopter. Be particularly careful if you let small children use the binoculars. (Fig. 4)
- Do not leave the polyethylene bag used for packaging within small children's reach. Children may put it on their mouths and suffocate. (Fig. 5)
- Be careful that small children do not inadvertently swallow the cap or eyecup. If it does happen, consult a doctor immediately.
- Do not disassemble the binoculars. Repairs should only be performed by a trained engineer. (Fig. 6)

Fig. 4

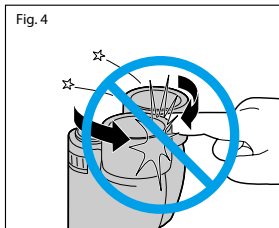


Fig. 5

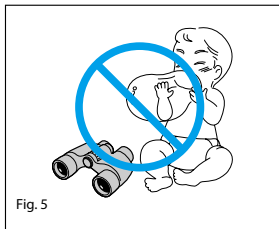
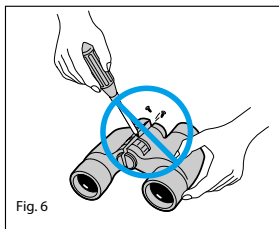


Fig. 6



OPERATION AND CONTROLS

1. Do not open the right and left binocular tubes beyond their limits. Also be careful not to rotate the diopter adjustment ring, focusing ring beyond their limits. (Fig. 7)
2. Avoid rain, water splashes, sand and mud. (Fig. 8) With waterproof binoculars, though some rain or splashed water will do no harm, wipe the water off as soon as possible.
3. Always protect binoculars from shock. If you cannot obtain a normal image after dropping or getting the binoculars wet, take them immediately to the shop where you purchased them. (Fig. 9)
4. When exposed to sudden temperature changes, water condensation may occur on lens surfaces. In this case, thoroughly dry the binoculars at room temperature.

Fig. 7

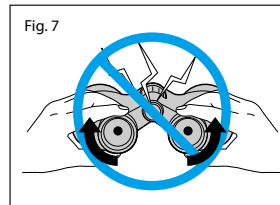


Fig. 8

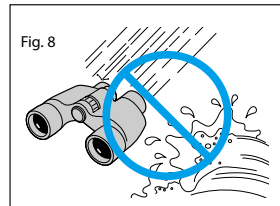
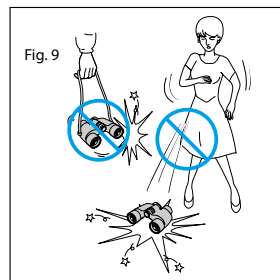


Fig. 9



STORAGE

5. Water condensation or mold may occur on lens surfaces because of high humidity. Therefore, store the binoculars in a cool, dry place. After use on a rainy day or at night, thoroughly dry them at room temperature, then store in a cool, dry place.
6. For lengthy storage, keep binoculars in a plastic bag or an airtight container with a desiccant. If this is not possible, store in a clean, well-ventilated place, separate from the case, as they are easily affected by moisture. (Fig. 10)
7. Do not leave the binoculars in a car on a hot or sunny day, or near heat generating equipment. This may damage or negatively affect them. (Fig. 11)

Fig. 10

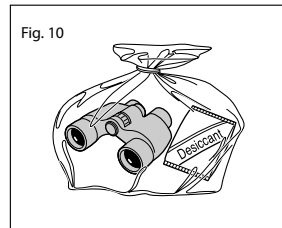
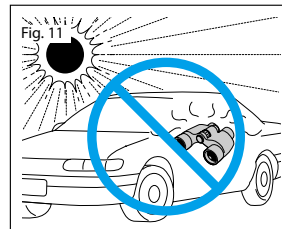


Fig. 11



MAINTENANCE & STORAGE

8. After having removed dust with a blower, clean the body surface using a soft, clean cloth. After use at the seaside, lightly soak a soft, clean cloth with water and wipe off salt that may be on the body surface. Then wipe the body surface with a dry cloth. Do not use benzene, thinner, or other organic agents. (Fig. 12)
9. When removing dust on the lens surface, use a soft oil-free brush.
10. When removing stains or smudges like fingerprints, from the lens surfaces, wipe the lenses very gently with a soft clean cotton cloth or quality oil-free lens tissue. Use a small quantity of pure alcohol (not denatured) to wipe stubborn smudges. Do not use velvet cloth or ordinary tissue, as it may scratch the lens surface. Once the cloth has been used for cleaning the body, it should not be used again for the lens surface. (Fig. 13)
11. Remove dust trapped in the focusing unit, diopter adjustment unit, or other rotating parts with a soft brush. (Fig. 14)



Fig. 12

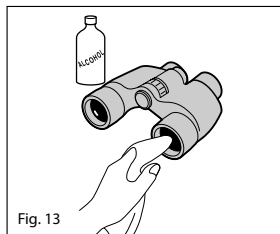


Fig. 13

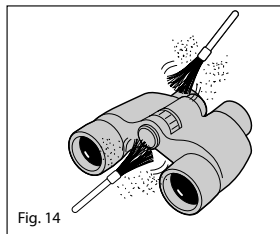


Fig. 14

Binoculars and included accessories



Binoculars (CW)



Strap x1 (SAY)

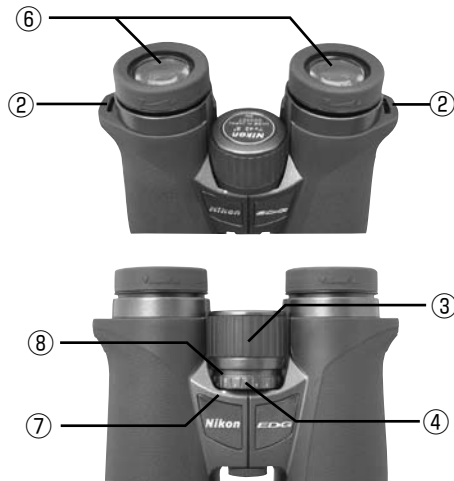
Case
(Φ42: CCT, Φ32: CDB)Eyepiece cap x1
(Φ42: ECP, Φ32: ECQ)Objective caps x2 (integral to binoculars)
(Φ42: OCE (R)/OCF (L), Φ32: OCG (R)/OCH (L))(Φ42: 7xACL, 8xACK, 10xACJ)
(Φ32: ACP)

(Φ42: EBY, Φ32: ECK)

Horn-shaped rubber eyecups and caps x2 each



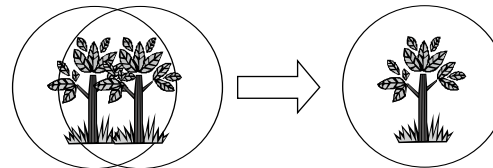
- ① Eyecups (turn/slide)
- ② Neckstrap eyelets
- ③ Focusing ring
- ④ Diopter adjustment ring
- ⑤ Objective lens



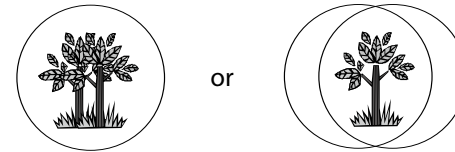
- ⑥ Eyepieces
- ⑦ Diopter index
- ⑧ 0 (zero) diopter position
- ⑨ Central hinge



While looking at a subject through the eyepieces, gently rotate the binocular body (as shown above) so that the two circular viewfinders become one (as shown below).



You can adjust the two circular viewfinders into one even when the image is out of focus.



If the viewfield images are as shown above, the optical axis has shifted. If your eyes become tired or you see two images for one target, it is recommended that you get your binoculars inspected.

Optical axis: The direction of the eyepiece tube (optical center). With binoculars, the optical axes of right and left tubes should align.

Focusing ring

Configuration

- ① Focusing ring
Can be pulled out by clickstops.
- ② Diopter adjustment ring
Usually, this ring is covered by the focus ring.
It is made operable by pulling out the focusing ring.

Position and functions

- Position I :
Pushed into the deepest (Focusing) position.
Focusing ring can be used.
- Position II :
Fully pulled-out (Diopter adjustment) position.
Focusing ring rotates freely.
Diopter adjustment ring becomes operable.

Diopter Adjustment

Diopter adjustment adjusts the balance of right and left eyesight. If more than one viewer uses the same binoculars, adjustment is necessary when a different person uses it.

If binoculars are used by one person only, readjustment of the diopter is unnecessary after it has been initially adjusted.

- 1 Push the focusing ring ① in and look into the left eyecup with the left eye.
Then focus on a distant object by rotating the focusing ring ① .
- 2 Pull out the focusing ring ① so that the diopter adjustment ring ② becomes operable.
- 3 Look into the right eyecup with the right eye, then focus with the right eye on the same target while rotating the diopter adjustment ring ② .

- 4 Check focusing on both eyes <Confirmation of diopter adjustment>.

- 5 When in focus, push the focusing ring ① in to prevent the operation of the diopter adjustment ring ② .
- 6 When the subject changes, refocus the new subject by rotating the focusing ring ① .
 - Rotate clockwise to focus on a more distant subject.
 - Rotate counterclockwise to focus on a closer subject.
- 7 When focusing is not necessary, set the focusing ring ① in the diopter adjustment position, so that it doesn't change the focusing position even if you accidentally touch it. (Be aware that diopter adjustment becomes operable.)

Turn and slide eyecups



Fully retracted position



Fully extended position

(As viewed from the eyepiece side)
Turn eyecup counterclockwise to extend.
Turn eyecup clockwise to retract.
There are four click positions.

- Non-eyeglass wearers:
Extend the eyecup for use (third click position).
Note: Do not rotate eyecups beyond the third click position as they may detach. There are two click positions before reaching the fully extended position. Position where vision is most accurate and comfortable for your use.
- Eyeglass wearers:
Use with the eyecups in their fully retracted position.
If a wide, accurate view can be obtained, you can also use the middle click position.

Horn-shaped rubber eyecups



Horn-shaped rubber eyecups when mounted



Caps when mounted

- Cannot be used with eyeglasses. Please take off your eyeglasses before use.
- The horn-shaped rubber eyecups are attached by covering the rubber eyepieces.
- Adjust the horns of the eyecups to match your temples by observing the following points:
 - Match the distance between right and left eyepiece tubes with your interpupillary distance by moving the tubes further apart or closer together.
 - Set the eyecups to the fully retracted position.
 - When mounting the eyecups, be careful not to change their length.



- ① Neckstrap eyelet
Attach the neckstrap through the eyelet for security.

At the maximum interpupillary distance, eyecaps are removed easily.
When the interpupillary distance is narrowed, eyecaps are difficult to remove because of friction.

Objective caps



Objective caps are integral to the binoculars.
Left and right forms are different and attach to the
appropriate objective.
Binoculars can be used with the caps folded open.

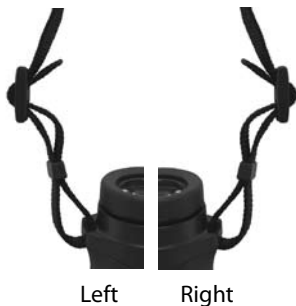
Closed (Factory default setting)



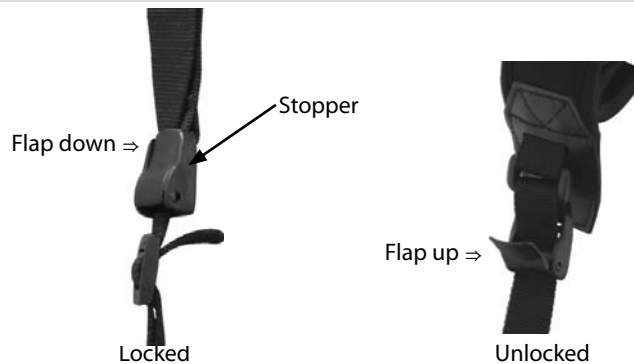
Open



Strap



Attach the strap through the
strap eyelets on both sides as
illustrated.



Using the stopper mounted at the middle of the belt, you can
easily change the length of the belt.
Adjust the strap to equal lengths right and left easily by hanging
the binoculars and strap around your neck.
When hanging from your neck, keep the binoculars in a
comfortable and convenient position.



Type: Roof-prism central focusing					
Model	EDG 8x32	EDG 10x32	EDG 7x42	EDG 8x42	EDG 10x42
Magnification (x)	8	10	7	8	10
Effective diameter of objective lens (mm)	32	32	42	42	42
Angular field of view (°)	7.8	6.5	8.0	7.7	6.5
Angular field of view (apparent) (°)*	57.2	59.2	52.2	56.6	59.2
Field of view at 1,000m (m) (1,000 yds. (ft.))	136 (409)	114 (341)	140 (420)	135 (405)	114 (341)
Exit pupil (mm)	4.0	3.2	6.0	5.3	4.2
Brightness	16.0	10.2	36.0	28.1	17.6
Eye relief (mm)	18.5	17.3	22.1	19.3	18
Close focusing distance, approx (m (ft.))**	2.5 (8.2)	2.5 (8.2)	3 (9.8)	3 (9.8)	3 (9.8)
Interpupillary distance adjustment (mm)	54-76	54-76	55-76	55-76	55-76
Length (mm (inch))	138 (5.4)	138 (5.4)	149 (5.87)	148 (5.83)	151 (5.94)
Width (mm (inch))	139 (5.5)	139 (5.5)	141 (5.6)	141 (5.6)	141 (5.6)
Weight (g (oz.))	655 (23.1)	650 (22.9)	785 (27.7)	785 (27.7)	790 (27.9)
Structure	Waterproof (up to 5m for 10 minutes) and nitrogen-filled				

* The number calculated by the formula [$\tan \omega' = \Gamma \times \tan \omega$]

Apparent field of view: $2\omega'$, Magnification: Γ , Real field of view: 2ω

** With normal eyesight without accommodation

☆ Waterproof mode:

The EDG is waterproof, and will suffer no damage to the optical system if submerged or dropped in water to a maximum depth of 5 meters for up to 10 minutes.

The EDG offers the following advantages:

- Can be used in conditions of high humidity, dust and rain without risk of damage.
 - Nitrogen-filled design makes it resistant to condensation and mold.
- Observe the following when using the EDG.
- This unit should not be operated nor held in running water.
 - Any moisture should be wiped off before adjusting movable parts (focusing knob, etc.) of the EDG to prevent damage and for safety reasons.

To keep your EDG in excellent condition, Nikon Vision recommends regular servicing by an authorized dealer.

Précautions	36-38
Précautions d'emploi	38-40
Jumelles et accessoires inclus	41
Nomenclature	42
Réglage interpupillaire	43
Bague de mise au point	44
Ajustement de la dioptrie	44-45
Ajustement de la position de l'ocilleton	46-47
Capuchon d'oculaire	47
Capuchons d'objectif	48
Courroie	48-49
Caractéristiques	50-51

• Les caractéristiques et la conception sont sujettes à modification sans préavis.
 • Aucune reproduction totale ou partielle, sous quelle que forme que ce soit, (à l'exception de brèves citations dans des magazines) ne peut être faite sans autorisation écrite de NIKON VISION CO., LTD.

Merci d'avoir porté votre choix sur les jumelles Nikon.

Respectez à la lettre les instructions suivantes pour une utilisation adéquate de votre matériel et pour éviter de potentiels accidents qui pourraient survenir.

- 1 Avant d'utiliser le produit, lisez attentivement les instructions des « RÈGLES DE SÉCURITÉ » et le mode d'emploi fourni avec le produit pour pouvoir l'utiliser de manière correcte.
- 2 Conserver ces instructions à portée de la main à titre de référence.
- 3 Certains des éléments décrits dans les instructions des « RÈGLES DE SÉCURITÉ », « PRÉCAUTIONS POUR L'EMPLOI » et « FONCTIONNEMENT » réfèrent à des items non inclus dans les spécifications du produit acheté.

Toutes les instructions ainsi que les avertissements et les précautions concernant l'emploi et l'entretien de l'appareil sont donnés afin d'éviter toute blessure ou perte de biens possible à l'utilisateur ou à une tierce personne.

⚠ ATTENTION

Avertit du fait qu'un emploi incorrect en ignorant les points ci-dessous peut se traduire par la mort ou de sérieuses blessures.

⚠ PRECAUTION

Avertit du fait qu'un emploi incorrect en ignorant les points ci-dessous peut se traduire par des blessures potentielles ou seulement des pertes matérielles.

PRÉCAUTIONS D'EMPLOI

Les indications de cette section avertissent du fait qu'un emploi incorrect, ne tenant pas compte des points ci-dessous, peut affecter les performances et la fonctionnalité du produit.

⚠ ATTENTION!

Ne regardez jamais directement le soleil avec des jumelles.

Cela pourrait sérieusement endommager votre vue. (Fig. 1)

⚠ ATTENTION!

- Ne laissez pas les jumelles dans un endroit instable. Elles pourraient tomber et provoquer des blessures.
- N'utilisez pas les jumelles en marchant. Vous pourriez trébucher sur quelque chose et vous blesser. (Fig. 2)
- Ne balancez pas les jumelles au bout de leur courroie. Elles pourraient heurter quelqu'un et provoquer des blessures. (Fig. 3)
- La housse, la courroie et les matières extérieures des jumelles et sur les ocilletons en caoutchouc peuvent se détériorer avec le temps et tacher les vêtements. Pour éviter cet inconfort, vérifiez leur état avant chaque utilisation, et consultez votre revendeur si vous constatez une détérioration de ce genre.

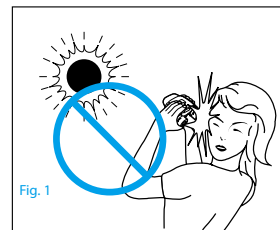


Fig. 1



Fig. 2

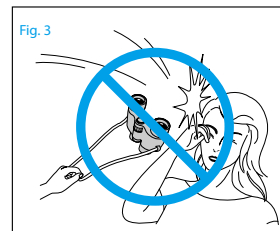


Fig. 3

⚠ PRECAUTION!

- Si vous utilisez les œilletons en caoutchouc pendant longtemps, ils peuvent provoquer une irritation cutanée. En cas d'inflammation, consultez immédiatement un médecin.
- Prenez garde de ne pas vous coincer les doigts en ajustant la distance interpupillaire ou en effectuant le réglage dioptrique. Faites très attention si vous laissez de petits enfants utiliser les jumelles. (Fig. 4)
- Ne laissez pas le sac en polyéthylène utilisé pour l'emballage à portée des petits enfants. Ils pourraient le mettre dans la bouche et s'étouffer. (Fig. 5)
- Faites attention que les petits enfants n'avalent pas par inadvertance un œilleton ou un capuchon. Consultez immédiatement un médecin si cela arrive.
- Ne démontez pas les jumelles. Les réparations doivent être confiées à un technicien compétent. (Fig. 6)

Fig. 4

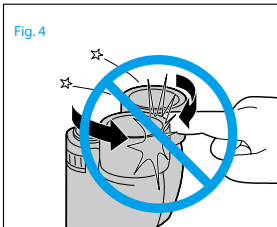


Fig. 5

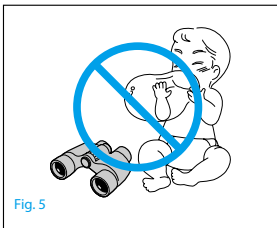
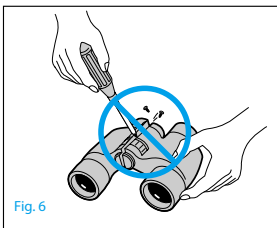


Fig. 6



FONCTIONNEMENT ET COMMANDES

1. N'ouvrez pas excessivement les tubes oculaires droit et gauche. Ne tournez pas excessivement la bague de réglage dioptrique et ne tournez pas la bague de mise au point hors de ses limites. (Fig. 7)
2. Protégez les jumelles contre la pluie, les éclaboussures d'eau, le sable et la boue. (Fig. 8) Avec des jumelles étanches à l'eau, une pluie légère ou des éclaboussures ne posent aucun problème, mais éliminez quand même l'eau au plus tôt en l'essuyant avec un chiffon.
3. Évitez tout choc aux jumelles. Si vous ne pouvez pas obtenir une image normale après une chute ou le contact avec de l'eau, portez immédiatement vos jumelles chez votre revendeur. (Fig. 9)
4. En cas de changement de température brutal, de l'eau peut se condenser sur la surface des lentilles. Dans ce cas, laissez les jumelles sécher entièrement à température ambiante.

Fig. 7

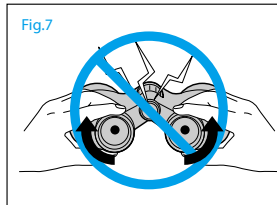


Fig. 8

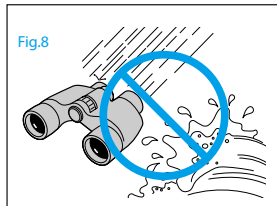
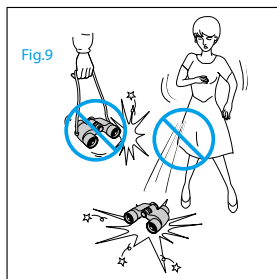


Fig. 9



STOCKAGE

5. De la condensation ou de la moisissure peuvent se former sur la surface des lentilles en cas de forte humidité. Pour cette raison, rangez les jumelles dans un endroit frais et sec. Après utilisation un jour de pluie ou pendant la nuit, laissez les sécher entièrement à température ambiante avant de les ranger dans un endroit frais et sec.
6. Pour le stockage de longue durée, rangez les jumelles dans un sac en plastique ou un récipient hermétique avec un produit déshydratant. Si ce n'est pas possible, rangez-les dans un endroit propre et bien aéré, séparément de l'étui souple, parce que des moisissures pourraient facilement se développer. (Fig. 10)
7. Ne laissez pas vos jumelles dans une voiture par temps chaud ou ensoleillé, ou près d'un appareil produisant de la chaleur. Cela pourrait les endommager ou affecter leur fonctionnement. (Fig. 11)

Fig. 10

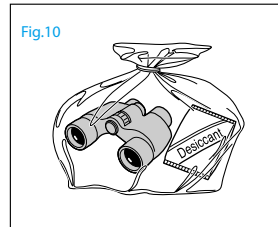
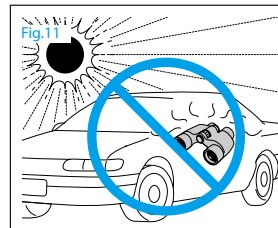


Fig. 11



ENTRETIEN & STOCKAGE

8. Après avoir éliminé la poussière avec un soufflet, nettoyez le boîtier avec un chiffon doux et sec. Après une utilisation au bord de la mer, utilisez un chiffon doux et propre légèrement humidifié d'eau pour éliminer le sel qui pourrait avoir adhéré à la surface. Puis, séchez la surface en l'essuyant avec un chiffon sec. N'utilisez pas de benzène, diluant ou autre agent organique. (Fig. 12)
9. Servez-vous d'un pinceau doux non-gras pour dépoussiérer la surface des lentilles. (Fig. 13)
10. Pour l'élimination de taches ou saletés comme les traces de doigts de la surface des lentilles, essuyez doucement avec un chiffon doux et propre ou du papier pour lentilles non-gras de bonne qualité. Un peu d'alcool pur (non dénaturé) peut être utilisé pour éliminer les taches tenaces. L'emploi de velours ou d'un mouchoir en papier n'est pas recommandé, parce qu'ils pourraient rayer la surface des lentilles. Un chiffon utilisé pour nettoyer le boîtier ne doit pas être réutilisé sur la surface des lentilles. (Fig. 13)
11. Éliminez la poussière coincée entre la bague de mise au point, la bague dioptrique ou toute autre pièce mobile avec un pinceau doux. (Fig. 14)

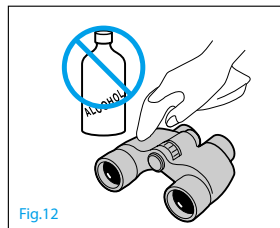


Fig.12

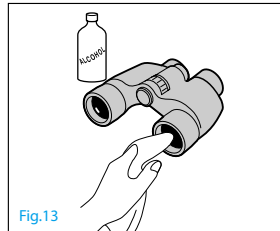


Fig.13

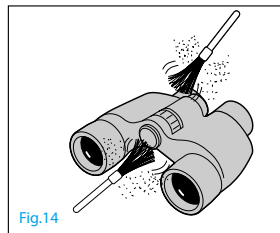


Fig.14

Jumelles et accessoires inclus



Jumelles (CW)



Courroie x1 (SAY)

Étui
(Φ42 : CCT, Φ32 : CDB)Capuchon d'oculaire x 1
(Φ42 : ECP, Φ32 : ECQ)Capuchons d'objectif x 2
(intégrés aux jumelles)
(Φ42 : OCE (D)/OCF (G), Φ32 : OCG (D)/OCH (G))(Φ42 : 7xACL, 8xACK, 10xACJ)
(Φ32 : ACP)

(Φ42 : EBY, Φ32 : ECK)

Œillets en caoutchouc en forme de cornet et capuchons x 2 de chaque



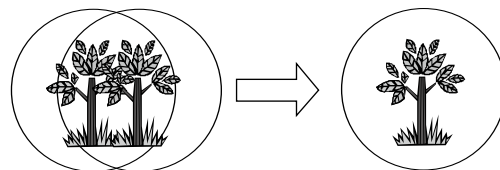
- ① Œilletons (tourner-glisser)
- ② Œillet pour courroie
- ③ Bague de mise au point
- ④ Bague de dioptrie
- ⑤ Lentilles de mise au point



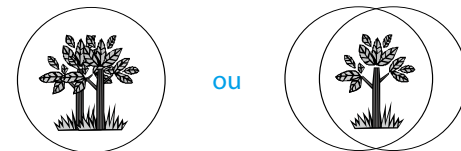
- ⑥ Œilletons
- ⑦ Index dioptrique
- ⑧ Position du 0 (zéro) dioptrique
- ⑨ Charnière centrale



Faites doucement pivoter le corps des jumelles tout en observant un sujet dans les oculaires (comme illustré ci-dessus) afin que les deux viseurs se fondent en un seul (comme illustré ci-dessous).



Vous pouvez ajuster les deux viseurs circulaires en un seul, même si l'image n'est pas mise au point.



ou

Si les images du champ de vision correspondent aux images ci-dessous, cela signifie que l'axe optique est décalé. Si vos yeux se fatiguent ou si vous voyez deux images d'une cible, nous vous recommandons de faire inspecter vos jumelles.

Axe optique : la direction du tube de l'oculaire (centre optique).
Dans le cas de jumelles, les centres optiques des tubes droit et gauche doivent être alignés.

Configuration

- ① Bague de mise au point
Peut être tirée de deux pas par déclic.
- ② Bague de dioptrie
En règle générale, cette bague est recouverte par la bague de mise au point.
Elle devient actionnable en tirant la bague de mise au point.

Position et fonctions

Position I :

Enfoncée en position la plus profonde (mise au point).
La bague de mise au point peut être utilisée.

Position II :

Position complètement tirée (ajustement de la dioptrie).
La bague de mise au point tourne librement.
Il est possible d'utiliser la bague d'ajustement de la dioptrie.



Position de mise au point



Position d'ajustement dioptrique

L'ajustement de la dioptrie règle l'équilibre entre les vues de droite et de gauche. Dans le cas où plusieurs personnes utilisent les mêmes jumelles, un ajustement est nécessaire lors d'un changement d'utilisateur.

Si les jumelles sont utilisées par une seule personne, le réajustement de la dioptrie n'est pas nécessaire après l'ajustement initial.

- 1 Poussez la bague de mise au point ① et regardez dans l'oculaire gauche avec votre œil gauche.
Puis procédez à la mise au point sur un objet distant en faisant tourner la bague de mise au point ①.
- 2 Tirez la bague de mise au point ① afin de pouvoir utiliser la bague d'ajustement de la dioptrie ②.
- 3 Regardez dans l'oculaire droit avec votre œil droit, puis faites une mise au point sur la même cible, toujours avec l'œil droit en faisant tourner la bague de dioptrie ②.

- 4 Vérifiez la mise au point des deux yeux <Vérification de l'ajustement de la dioptrie>.
- 5 Une fois la mise au point effectuée, poussez la bague de mise au point ① pour verrouiller la bague de dioptrie ②.
- 6 Si les sujets changent, faites une nouvelle mise au point en tournant la bague de mise au point ①.
 - Faites-la tourner dans le sens des aiguilles d'une montre pour procéder à la mise au point sur un sujet plus éloigné.
 - Faites-la tourner dans le sens inverse des aiguilles d'une montre pour procéder à la mise au point sur un sujet plus proche.
- 7 Lorsque la mise au point n'est pas nécessaire, réglez la bague de mise au point ① en position centrale (déverrouillée), de sorte que la position de mise au point ne change pas même si vous la touchez accidentellement. (Faites attention, les réglages de la bague de réglage dioptrique sont, quant à eux, modifiables).

Ajustement de la position de l'ocilleton

Capuchons d'objectifs (tourner et glisser)



Position entièrement rétractée



Position entièrement sortie

(Vu du côté de l'oculaire)

Tournez l'ocilleton dans le sens des aiguilles d'une montre pour le sortir. Tournez l'ocilleton dans le sens contraire des aiguilles d'une montre pour le rétracter.

Positionnables sur 4 pas par déclic.

- Personnes ne portant pas de lunettes : Sortez l'ocilleton pour l'utilisation (position du troisième déclic).

Remarque : Ne faites pas tourner les ocilletons au delà de la position du troisième clic car ils pourraient se détacher. Il y a deux positions de déclic avant d'atteindre la position entièrement sortie.

Déterminez la position où la vision est la plus précise et la plus confortable pour votre usage.

- Porteurs de lunettes : Utilisez les jumelles avec les ocilletons en position complètement rétractée. Si vous pouvez obtenir une vue large et précise, vous pouvez aussi utiliser la position centrale de déclic.

Œilletons en caoutchouc en forme de cornets



Œilletons en caoutchouc en forme de cornets, montés



Capuchons montés

- Ne peuvent pas être utilisés avec des lunettes. Veuillez retirer vos lunettes avant usage.
- Les ocilletons en caoutchouc en forme de cornet se fixent en couvrant les oculaires de caoutchouc.
- Ajustez les cornets des ocilletons de façon à ce qu'ils s'adaptent à vos tempes en respectant les points suivants :
 - Faites correspondre la distance entre les tubes des oculaires droit et gauche à votre distance interpupillaire en écartant ou en rapprochant les tubes.
 - Réglez les jumelles avec les ocilletons en position complètement rétractée.
 - Lors de la mise en place des ocilletons, prenez soin de ne pas modifier leur longueur.

Capuchon d'oculaire



① Œillet pour courroie

Par sécurité, fixez la courroie dans l'œillet.

Lorsque la distance interpupillaire est à son maximum, le retrait du capuchon se fait en toute simplicité.

Lorsque la distance interpupillaire est réduite, la friction rend difficile le retrait du capuchon.

Capuchons d'objectifs



Les capuchons d'objectif sont intégrés aux jumelles.
La forme du capuchon droit est différente de celle du capuchon de gauche. Ils doivent donc être montés sur l'objectif adéquat.
Ils peuvent être utilisés en position ouverte ou repliée.

Fermé (réglage usine par défaut)



Ouvert



Courroie



Gauche Droite

Fixez la courroie dans les œillets des deux côtés, comme illustré.



Grâce à l'arrêt situé au milieu de la courroie, vous pouvez facilement changer la longueur de celle-ci.
Ajustez facilement la courroie en longueurs égales à droite et à gauche en suspendant les jumelles et la courroie à votre cou.
Lorsqu'elles pendent à votre cou, vérifiez que les jumelles restent dans la bonne position.

Raccourcie



Allongée



Type : prisme en toit de type à mise au point centrale					
Modèle	EDG 8x32	EDG 10x32	EDG 7x42	EDG 8x42	EDG 10x42
Grossissement (x)	8	10	7	8	10
Diamètre effectif de la lentille de l'objectif (mm)	32	32	42	42	42
Champ angulaire (°)	7,8	6,5	8,0	7,7	6,5
Champ angulaire (apparent) (°)*	57,2	59,2	52,2	56,6	59,2
Champ de vision à 1000 m (m)	136	114	140	135	114
Pupille de sortie (mm)	4,0	3,2	6,0	5,3	4,2
Luminosité	16,0	10,2	36,0	28,1	17,6
Dégagement oculaire (mm)	18,5	17,3	22,1	19,3	18
Distance de mise au point approx. (m)**	2,5	2,5	3	3	3
Ajustement de la distance interpupillaire (mm)	54-76	54-76	55-76	55-76	55-76
Longueur (mm)	138	138	149	148	151
Largeur (mm)	139	139	141	141	141
Poids (g)	655	650	785	785	790
Structure	Imperméables (jusqu'à 5 mètres pendant 10 minutes) et remplies d'azote				

* Le nombre est calculé par la formule $[\tan \omega' = \Gamma \times \tan \omega]$

Champ angulaire apparent : $2\omega'$, Grossissement : Γ , Champ angulaire de vision (réel) : 2ω

** Pour vue normale sans correction

☆ Mode étanche :

Les jumelles EDG sont étanches et le système optique ne subira aucun dommage si elles sont immergées ou si elles tombent dans l'eau jusqu'à une profondeur maximale de 5 mètres et une durée de 10 minutes.

Les jumelles EDG offrent les avantages suivants :

- Elles peuvent utilisées dans des conditions de forte humidité, poussière et pluie sans risque de dommage.
- Une conception avec remplissage d'azote les rend résistantes à la condensation et aux moisissures.

Respectez ce qui suit lors de l'utilisation des jumelles EDG.

- Cette unité ne doit pas être exploité, ni tenue à l'eau courante.
- Toute moisissure doit être essuyée avant d'ajuster des parties mobiles (commande de mise au point, etc.) des jumelles EDG pour éviter tout dommage et pour des raisons de sécurité.

Pour conserver vos jumelles EDG en excellent état, Nikon Vision vous recommande un entretien régulier par votre distributeur agréé.

Precauciones	52-54
Precauciones para el uso	54-56
Binoculares y accesorios incluidos	57
Nomenclatura	58
Ajuste interpupilar	59
Aro de enfoque	60
Ajuste de dioptrías	60-61
Ajuste de la posición de una ojera	62-63
Tapa de oculares	63
Tapas de objetivos	64
Correa	64-65
Especificaciones	66-67

- Las especificaciones y el diseño están sujetos a cambios sin previo aviso.
- Se prohíbe la reproducción de este manual en cualquier forma, ya sea en su totalidad o en parte (excepto citas breves en artículos críticos o revisiones), sin la autorización escrita de NIKON VISION CO., LTD.

Gracias por adquirir estos gemelos Nikon.

Respete estrictamente las orientaciones siguientes para usar el equipo correctamente y evitar accidentes peligrosos

- 1 Antes de utilizar este producto, lea cuidadosamente las "PRECAUCIONES PARA SU SEGURIDAD" y las instrucciones que vienen con el producto para utilizarlo correctamente.
- 2 Tenga a mano estas instrucciones para consultarlas cuando lo precise.
- 3 Algunas de las instrucciones de las "PRECAUCIONES PARA SU SEGURIDAD", "PRECAUCIONES PARA EL USO" y "OPERACIÓN" se refieren a funciones que no existen en las especificaciones del producto que ha adquirido.

Para evitar que usted o alguna otra persona pueda sufrir daños o pérdidas en los bienes personales y para utilizarlo correctamente, lea los puntos indicados en las instrucciones. Se ruega a los usuarios que primero lean y entiendan bien los puntos antes de utilizar el producto.

⚠ ADVERTENCIA

Esta indicación le avisa que un uso incorrecto que no tenga en cuenta este punto puede provocar la muerte o heridas graves.

⚠ PRECAUCION

Esta indicación le avisa que un uso incorrecto que no tenga en cuenta este punto puede resultar en heridas o pérdidas materiales.

PRECAUCIONES PARA EL USO

Los temas de esta sección le avisan que un uso incorrecto, que ignore el contenido descrito a continuación, puede afectar negativamente las prestaciones y funcionamiento del producto.

⚠ ¡ADVERTENCIA!

Nunca mire directamente al sol a través de estos binoculares/monocular.

Sus ojos podrían resultar gravemente dañados. (Fig. 1)

⚠ ¡PRECAUCIÓN!

- No deje los gemelos en un lugar inestable. Podrían caer y provocar daños.
- No mire por los gemelos mientras anda. Podría tropezar o caerse y resultar herido. (Fig. 2)
- No haga balancear los gemelos con las correas. Podrían golpear a alguien y herirlo. (Fig. 3)
- El estuche flexible, la correa y los materiales externos utilizados en los gemelos y las ojeras de goma pueden deteriorarse con el tiempo y manchar la ropa. Para evitarlo, compruebe su estado antes de cada utilización y consulte en la tienda donde los adquirió si observa dicho deterioro.

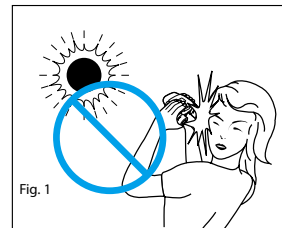


Fig. 1



Fig. 2

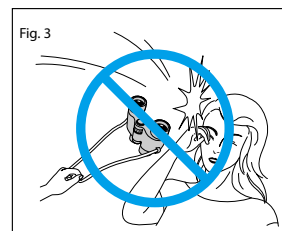
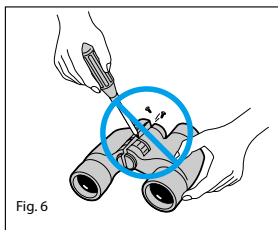
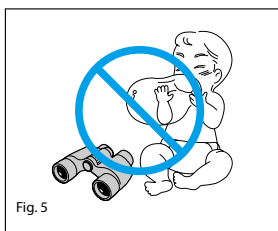
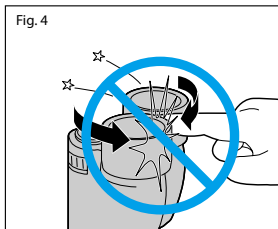


Fig. 3

⚠ ¡PRECAUCION!

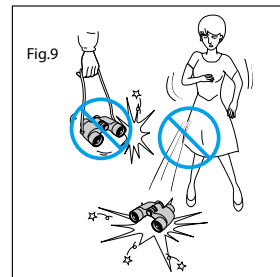
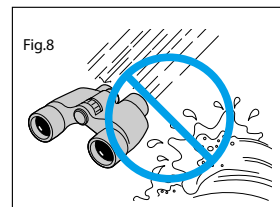
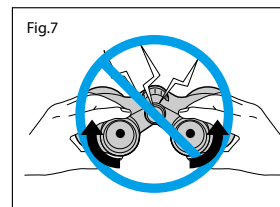
- Si utiliza las ojeras de goma durante mucho tiempo puede notar una inflamación de la piel. Si presenta algún síntoma, consulte inmediatamente a un médico.
- Cuidese de no atrapar su dedo cuando ajuste la distancia interpupilar o el ajuste de dioptrías. Preste especial atención si permite que niños pequeños utilicen los gemelos. (Fig. 4)
- No deje la bolsa de polietileno del embalaje al alcance de niños pequeños. Los niños podrían ponérsela en la boca y asfixiarse. (Fig. 5)
- Vigile a los niños pequeños para que no tragan la tapa o el ocular. Si se da el caso, consulte a un médico inmediatamente.
- No desmonte los gemelos. Las reparaciones sólo debe realizarlas un mecánico experto. (Fig. 6)



Precauciones para el uso

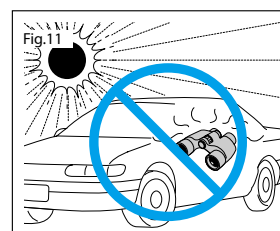
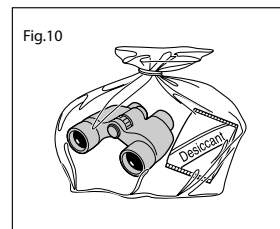
FUNCIONAMIENTO Y CONTROLES

1. No abra los tubos gemelos derecho e izquierdo más allá de sus límites. Tenga cuidado de no girar el aro de ajuste de dioptrías ni el aro de enfoque más allá de su límite. (Fig. 7).
2. Evite la lluvia, salpicaduras de agua, arena y lodo. (Fig. 8). Los binoculares a prueba de agua al agua pueden exponerse a la lluvia o salpicarse con agua pero limpie el agua lo antes posible.
3. Proteja siempre los binoculares de los golpes. Si los gemelos le caen o se mojan y después no puede obtener una imagen normal, llévelos inmediatamente a la tienda donde los adquirió. (Fig. 9)
4. Si se exponen a cambios de temperatura repentinos, puede condensarse agua en las superficies de las lentes. En este caso, seque a fondo los gemelos a temperatura ambiente.



ALMACENAMIENTO

5. En caso de humedad elevada puede aparecer condensación de agua o moho sobre la superficie de las lentes. Guarde los binoculares en un lugar fresco y seco. Después de usarlos en un día lluvioso o por la noche, séquelos a temperatura ambiente y guárdelos en un lugar fresco y seco.
6. Para almacenamientos de largo plazo, coloque los gemelos en una bolsa de plástico o un recipiente hermético con un desecante. Si no fuera posible, guárdelos en un lugar limpio y bien ventilado, fuera del estuche, pues son muy sensibles a la humedad. (Fig. 10)
7. No deje los gemelos en un coche en días cálidos o soleados, ni cerca de equipos generadores de calor. Podría dañarlos o afectarles negativamente. (Fig. 11)



MANTENIMIENTO Y ALMACENAMIENTO

8. Después de eliminar el polvo con un soplador, limpie la superficie del cuerpo con un paño suave y limpio. Si lo ha utilizado cerca del mar, empape un paño suave y limpio con agua y limpie la sal de la superficie del cuerpo. Después frote con un paño suave, seco. No utilice benceno, disolvente ni otros agentes orgánicos. (Fig. 12)
9. Para eliminar el polvo de la superficie de las lentes, utilice un cepillo blando sin aceite.
10. Al eliminar manchas o residuos como marcas de dedos de la superficie de las lentes, limpie las lentes muy suavemente con un paño de algodón suave y limpio o con un paño de limpieza de lentes de calidad sin aceite. Utilice una pequeña cantidad de alcohol puro (no desnaturalizado) para limpiar las manchas resistentes. No utilice trapos de terciopelo ni papel tisú común dado que pueden rayar las lentes. Si se ha utilizado un paño para limpiar el cuerpo no debe usarse para la superficie de la lente. (Fig. 13)
11. Limpie el polvo atrapado en el mango de enfoque, unidad de ajuste de dioptrías u otras piezas giratorias con un cepillo suave. (Fig. 14)

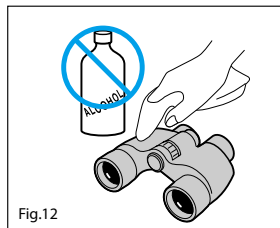


Fig.12

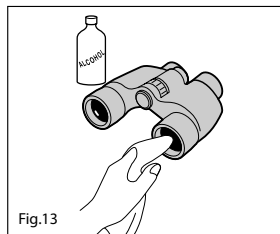


Fig.13

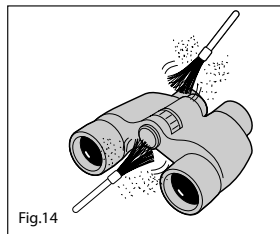


Fig.14

Binoculares y accesorios incluidos



Binoculares (CW)



1 correa (SAY)



Funda
(Φ42: CCT, Φ32: CDB)



1 tapa de ocular
(Φ42: ECP, Φ32: ECQ)



2 tapas de objetivos
(parte integral de los binoculares)
(Φ42: OCE (D)/OCF (I), Φ32: OCG (D)/OCH (I))



(Φ42: 7xACL, 8xACK, 10xACJ)
(Φ32: ACP)

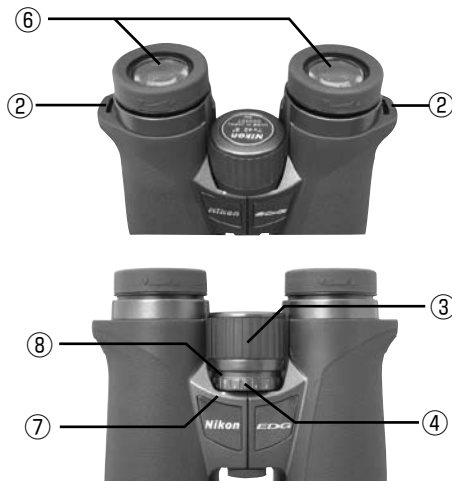


(Φ42: EBY, Φ32: ECK)

2 ojeras de goma en forma de cuerno y 2 tapas



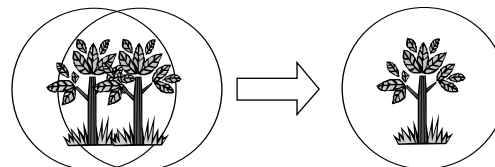
- ① Ojeras (giratorias/deslizantes)
- ② Argollas para la correa de cuello
- ③ Aro de enfoque
- ④ Aro de ajuste de dioptrías
- ⑤ Objetivos



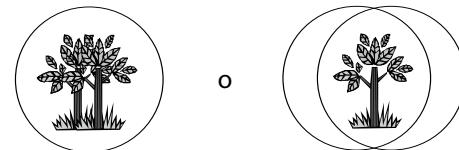
- ⑥ Oculares
- ⑦ Índice de dioptrías
- ⑧ Posición de dioptría 0 (cero)
- ⑨ Bisagra central



Mientras mira a un objeto a través de los oculares, gire suavemente el cuerpo del binocular (como se muestra arriba) de forma que los dos visores circulares se conviertan en uno (como se muestra debajo).



Puede ajustar los dos visores circulares en uno solo, incluso cuando la imagen está desenfocada.



Si las imágenes en el campo de visión son las mostradas arriba, el eje óptico se ha desplazado.

Si se le cansa la vista o si ve dos imágenes para un mismo objeto, se le recomienda que lleve a inspeccionar sus binoculares.

Eje óptico: La dirección del tubo de ocular (centro óptico).
Con los binoculares, se deben alinear los ejes ópticos de los tubos derecho e izquierdo.



Configuración

- ① Aro de enfoque
Puede sacarse mediante paradas con clics.
- ② Aro de ajuste de dioptrías
Por lo general, este aro está cubierto por el aro de enfoque.
Puede manipularse tirando del aro de enfoque.



Posiciones y funciones

- Posición I:
Empujado hasta la posición más profunda (Enfoque).
Puede usarse el aro de enfoque.
- Posición II:
Posición totalmente hacia fuera (ajuste de dioptrías).
El aro de enfoque gira libremente.
Se puede manipular el aro de ajuste de dioptrías.



Posición de enfoque



Posición de ajuste de dioptrías

Con el ajuste de dioptrías se ajusta el balance de la visión con los ojos derecho e izquierdo. Si más de una persona usa los mismos binoculares, es necesario ajustar cada vez que los use una persona diferente.

Si los binoculares se usan por una sola persona, no es necesario reajustar las dioptrías una vez que se hayan ajustado inicialmente.

- 1 Empuje hacia adentro el aro de enfoque ① y mire por la ojera izquierda con el ojo izquierdo. Entonces enfoque en un objeto distante haciendo girar el aro de enfoque ①.
- 2 Saque el aro de enfoque ① de forma que pueda manipularse el aro de ajuste de dioptrías ②.
- 3 Mire por la ojera derecha con el ojo derecho, y entonces enfoque con el ojo derecho en el mismo objeto a la vez que gira el aro de ajuste de dioptrías ②.
- 4 Compruebe el enfoque con ambos ojos <Confirmación del ajuste de dioptrías>.

- 5 Cuando esté enfocado, empuje hacia adentro el aro de enfoque ① para impedir el accionamiento del aro de dioptrías ②.
- 6 Si el objeto cambia, reenfoque el nuevo objeto girando el aro de enfoque ①.
 - Gire en sentido horario para enfocar en un objeto más distante.
 - Gire en sentido antihorario para enfocar en un objeto más cercano.
- 7 Cuando no sea necesario enfocar, ajuste el aro de enfoque ① en la posición de ajuste de dioptrías, de forma que aunque lo toque accidentalmente no cambie la posición de enfoque. (Tenga en cuenta que el aro de ajuste de dioptrías se puede manipular.)

Ajuste de la posición de una ojera

Ojeras giratorias y deslizantes



Posición completamente retraída



Posición completamente extendida

(Según se ve desde el lado del ocular)
Para extender gire la ojera en sentido antihorario.
Para retraer gire la ojera en sentido horario.
Hay cuatro posiciones de clic.

- Para los que no llevan gafas:
Extienda la ojera para usarlo (posición del tercer clic).
Nota: No gire las ojeras más allá de la posición del tercer clic porque pueden separarse. Antes de llegar a la posición completamente extendida hay dos posiciones de clic.
Use la posición en la cual vea mejor y con la cual se sienta más comfortable.

- Para los que llevan gafas:
Use con las ojeras en su posición completamente retraída.
Si puede obtener una visión amplia y precisa, también puede usar la posición del clic intermedio.

Ojeras de goma en forma de cuerno



Ojeras de goma en forma de cuerno cuando están montadas



Tapas cuando están montadas

- No se pueden usar con gafas.
Quítese sus gafas antes del uso.
- Las ojeras de goma en forma de cuerno se acoplan cubriendo los oculares de goma.
- Ajuste los cuernos de las ojeras para que coincidan con sus sienas observando los siguientes puntos:
 - Haga coincidir la distancia entre los tubos de ocular derecho e izquierdo con su distancia interpupilar moviendo los tubos para separarlos o acercarlos.
 - Coloque las ojeras en la posición completamente retraída.
 - Al montar las ojeras, cuide de no cambiar su longitud.

Tapa del ocular



- ① Argolla para la correa de cuello
Por seguridad, coloque la correa de cuello por la argolla.

A la máxima distancia interpupilar la tapa de oculares se retira con facilidad.
Si se reduce la distancia interpupilar, la tapa de oculares es difícil de retirar debido a la fricción.

Tapas de objetivos



Las tapas de objetivos son parte integral de los binoculares.

Las formas de la izquierda y la derecha son distintas y se fijan al objetivo correspondiente.

Los binoculares pueden usarse con las tapas en posición plegada abierta.

Cerradas
(ajuste predeterminado de fábrica)



Abiertas



Correa



Izquierda Derecha

Coloque la correa por las argollas de la correa en ambos lados como en la figura.



Usando el tope montado en el centro de la correa puede cambiar fácilmente la longitud de la misma.

Para conseguir fácilmente la misma longitud de correa a la derecha y a la izquierda, cuelgue los binoculares y la correa alrededor de su cuello. Cuando los cuelgue desde su cuello, mantenga los binoculares en una posición cómoda y correcta.



Tipo: enfoque central por pared prismática					
Modelo	EDG 8x32	EDG 10x32	EDG 7x42	EDG 8x42	EDG 10x42
Aumento (x)	8	10	7	8	10
Diámetro efectivo del objetivo (mm)	32	32	42	42	42
Campo angular de visión (°)	7,8	6,5	8,0	7,7	6,5
Campo de visión angular (aparente) (°)*	57,2	59,2	52,2	56,6	59,2
Campo de visión a 1.000 m (m)	136	114	140	135	114
Pupila de salida (mm)	4,0	3,2	6,0	5,3	4,2
Brillo	16,0	10,2	36,0	28,1	17,6
Distancia aprox. de la pupila de salida al ocular (mm)	18,5	17,3	22,1	19,3	18
Distancia de enfoque de acercamiento, aprox. (m.)**	2,5	2,5	3	3	3
Ajuste de la distancia interpupilar (mm)	54-76	54-76	55-76	55-76	55-76
Longitud (mm)	138	138	149	148	151
Anchura (mm)	139	139	141	141	141
Peso (g))	655	650	785	785	790
Estructura	Sumergibles (hasta 5 m durante 10 minutos) y rellenos con nitrógeno				

* El número se calcula con la fórmula [tan ω'= Γ x tan ω]
Campo de visión aparente: 2ω', Aumento: Γ, Campo de visión real: 2 ω
** Con visión normal sin adaptación

☆ Modo a prueba de agua:
El EDG es a prueba de agua, y el sistema óptico no se dañará si se sumerge o deja caer en el agua hasta una profundidad máxima de 5 metros hasta por 10 minutos.
El EDG ofrece las siguientes ventajas:

- Puede usarse en condiciones de gran humedad, polvo o lluvia sin riesgo de deterioro.
- Diseño llenado con nitrógeno que lo hace resistente a la humedad y el enmohecimiento.

Al usar el EDG tenga en cuenta lo siguiente.

- Esta unidad no debe manipularse ni colocarse bajo un chorro de agua.
- Para evitar daños, y por razones de seguridad, se debe secar toda la humedad de las partes móviles (botón de enfoque, etc.) del EDG.

Para mantener su EDG en condición excelente, Nikon Vision recomienda mantenimiento regular por un concesionario autorizado.

株式会社 **ニコンビジョン** CSセンター

〒142-0043 東京都品川区二葉 1 丁目 3 番 25 号

Tel: 03-3788-7699 Fax: 03-3788-7692

NIKON VISION CO., LTD.

Customer Service Department

3-25, Futaba 1-chome, Shinagawa-ku, Tokyo 142-0043, Japan

Tel: +81-3-3788-7699 Fax: +81-3-3788-7698

Printed in Japan (220K)04-1Y/1DE